



たくさんの保護者や地域の皆さんが見守る中、音楽会の始まりは全員で合唱



器楽クラブによる「木星」の演奏



見に来てね



倒れてないよ！



ペットボトルでボウリング

表通り裏通り

地域の皆さんと子どもたちによる、 小学校の文化祭 優（ゆう）鳩（はと）祭（さい）

西図書館・伊勢原公民館との複合施設である、霞ヶ関北小学校。地域と連携し、開かれた学校づくりをしています。その実践の場の一つが、五年前から始まった「優鳩祭」。複合施設である利点を生かした、市内では珍しい小学校の文化祭です。三年前には、児童から文化祭の名前を募集。同校校歌の「優しい鳩が胸に住む」という歌詞から、「優鳩祭」になりました。

午前は、全員で開会式を行ったあと、児童を二つのブロックに分けての音楽会。出場しないブロックはその間、公民館や図書館の登録グループなどによる体験講座に出かけます。午後は、四年生以上が各クラスごとに行っている、子どもたちならではの催しを回ったり、午前中に行けなかった体験講座に出かけたり……。八百三十八人の児童と、来場した千人以上の地域の皆さんで作上げた、ことしの「優鳩祭」。子どもたちの生き生きとした笑顔が、印象的でした。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨

優鳩祭の体験講座などにボランティアとして協力した、地域の皆さん

- ①「彩の会」の太鼓演奏 ②「広谷小学校区ジュニアリーダークラブ」のレクゲーム ③「リコーダーアンサンブルドルチェ」の演奏 ④「川越青年会議所」の手焼きせんべい体験 ⑤「いろりばなしの会」の読み聞かせ ⑥「小江戸おもちゃ119」の動くおもちゃ ⑦「絵手紙そよ風」の絵手紙体験 ⑧「カスミ茶会」の茶道体験 ⑨「学習支援ボランティア」の華道体験

まちのできごと
川越市の面積は109.16km²

109パレット

11月11日に111周年を祝して

川越に鉄道が開設されて111年。それにちなんだイベントが、11月11日に2つありました。本川越駅では、国分寺駅行きの特別電車「小江戸川越111号」の出発式が行われました。舟橋市長をはじめ、各鉄道会社の駅長などが出席し、特別電車を見送りました。また、鏡山酒造跡地では「小江戸川越・鉄道開設111周年記念フェスティバル」が行われ、およそ1,500人が訪れました。記念切符や駅弁の販売、写真展示・ペーパークラフトなどのコーナーがありました。その中で人気を集めていたのはミニ新幹線の運行、子どもから大人まで小さな旅を楽しんでいました。



人気を集めた、ミニ新幹線



式典であいさつをする舟橋市長。後ろに見える電車が、出発を待つ「小江戸川越111号」



「小江戸川越111号」を記念撮影する皆さんでいっぱい



里帰りの行列では、京姫を作家の篠綾子さん、京姫の息女を大澤加奈さんが務めました

京姫、810年ぶりの里帰り

「京姫」とも伝えられている、源義経の正室となった河越太郎重頼の息女。義経と共に自害した京姫を後世に伝えるために、地元の有志が中心となり供養塔の建立を計画。国指定史跡の河越館跡（上戸）内にある常楽寺境内に、重頼・義経・京姫の供養塔を建立しました。その除幕式を兼ねて、11月19日に「義経正室（京姫）里帰り810年祭」が行われました。多くの参加者に温かく迎えられて、里帰りをした京姫。供養塔は、新たな観光スポットになりそうです。



左から京姫・重頼・義経の供養塔



銀メダルを手にと笑顔の森泉さん

す。とが楽しんでるののは寂しいけれど、社会に出て仕事をすることが楽しみです。卒業で友達と離れるのは寂しいけれど、社会に出て仕事をすることが楽しみです。

水泳は、母親の勧めで六歳から始めました。今では、水泳が生活の一部になっています。毎日の練習は、スイミングスクールで一時間ほど、自分のペースで約二キロ泳いでいます。泳ぐことが大好きなので、練習をしても疲れを感じることはありません。これからは、自由形・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライの四種目で全国大会に出場し、メダルを取れるよう、練習したいと思っています。今大会で入賞したことで、自分に自信を持つことができるようになりました。春からは、社会人になります。卒業で友達と離れるのは寂しいけれど、社会に出て仕事をすることが楽しみです。

森泉さんは、十月に行われた「第六回全国障害者スポーツ大会のじぎく兵庫大会」の水泳に出場しました。結果は、少年の部女子百メートル自由形で二位、二十五メートル自由形で三位に入りました。「まさか、入賞できるとは思っていませんでしたので驚きました。初めてメダルをもらったので、とてもうれしかった」と、にこやかに話してくれました。

市立養護学校 森泉亜美さん（17歳）

かわごえ 川越 31